

施策：	12	セーフティネットの推進	財務コード	01030101-11-00
基本事業：	04	生活困窮者の支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	支援により生活困窮状態が改善された世帯数		担当課	保護課
			担当係	保護 1 担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象 (誰、何に対して事業を行うのか)		2. 手段 (事務事業の内容、やり方、手順)				
生活困窮者を主とした市民全般		「暮らしの困りごと相談」窓口を設置し、経済的な問題を抱えた者だけでなく、日常生活や社会生活を送るうえで多様な問題を抱えた者を対象とした相談を受け付けている。 令和元年7月から家計改善支援事業を開始し、家計を通じて、困窮に至る原因を突き止め、困窮者が自ら生活改善を図ることで困窮状態を解消していくことを目指す。 また、相談内容に応じて、問題を抱えた者が自立して生活出来るように各種支援施策(自立相談支援、住宅確保給付金)の実施。他課や専門機関等と連携した包括的な支援を実施。 (相談体制) 主任相談支援員 1人、相談支援員(就労支援員を兼務) 1人を配置。 (相談時間) 市役所開庁時間内				
3. 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		困りごとの解決を図り、自立した生活を支援する。				
4. 成果 (簡易評価は未記入)						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
相談者数		170	136	220	220			220
住宅支援者数	1	3	5	10	10			10

5. コスト								
事業費	計	千円	8,774	4,507	8,742	9,092		
	国	千円	4,027	2,129	5,317	5,643		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	4,747	2,378	3,425	3,449		
正職員人工数	人工	0.75	1.5	1.5	1.5			
正職員人件費	千円	5,997	12,134	12,098	11,978			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	14,771	16,641	20,840	21,070			

6. 成果状況及びコメント (簡易評価は未記入)								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない(停滞・低下)	相談内容が多様で生活面は当然のことながら、各種の制度を知らないことにより相談者の利益が守られていない事案などが多数存在する。窓口としては、他の機関との連携により自立促進に向けての支援を実施している。 なお、相談場所としての敷居が高いとの声も聞こえているため、市広報やホームページなどにより「暮らしの困りごと相談」として随時相談を受け付けている旨周知を行っている。 また住居確保給付金事業についても、周知を行っていきたい。							

7. 評価及びコメント (簡易評価は未記入)								
対象動向	増加	類似事業	なし	相談者からの相談内容に応じて、関係課とのつなぎを重点的に行っているが、事後フォローまでには至っていない。				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案 (簡易評価は必要な場合のみ記入)				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
---------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用(維持/事業終了の場合は記入する必要なし)								
令和元年度より必須事業に加え、任意事業である「家計改善支援事業」を実施。 今後、他の任意事業の導入を検討し、支援内容の充実を図っていく必要がある。								
事業開始背景及び現在の環境変化(市民・議会等の要望)				備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成27年4月に法施行され、当該事業を開始し、必須事業である「自立相談支援事業」と「住居確保給付金」の支給を開始した。 令和元年7月から「家計改善支援事業」を開始。								